

平成 2 6 年度公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会事業報告

期 場	日 所	事業名	内 容
平成 2 6 年 4 月 7 日 第 6 会議室		監査会	・平成 2 5 年度収支決算状況監査について
平成 2 6 年 5 月 2 6 日 第 4 会議室		理事会	・平成 2 5 年度事業報告及び収入支出決算の承認について
平成 2 6 年 5 月 2 8 日 第 6 会議室		評議員会	・平成 2 5 年度事業報告及び収入支出決算の承認について
平成 2 7 年 3 月 2 3 日 第 4 会議室		理事会	・平成 2 6 年度奨学生の選定について ・平成 2 7 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）の承認について
平成 2 7 年 3 月 3 0 日 町長室		理事長	・平成 2 6 年度奨学金給付式
平成 2 7 年 4 月 7 日 第 6 会議室		監査会	・平成 2 6 年度奨学生の選定について ・平成 2 6 年度事業報告及び収入支出決算の承認について

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	説明
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	76,803	17,575	59,228	繰越金
流動資産合計	76,803	17,575	59,228	
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金（三井住友信託銀行）	10,000,000	10,000,000	0	竹歳磐彦氏寄附
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0	
(2) 特定資産				
定期預金（山陰合同銀行）	409,018	500,000	△ 90,982	竹歳誠氏寄附
特定資産合計	409,018	500,000	△ 90,982	
(3) その他固定資産				
その他固定資産合計	0	0	0	
固定資産合計	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
資産合計	10,485,821	10,517,575	△ 31,754	
II 負債の部				
1 流動負債				
流動負債合計	0	0	0	
2 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
寄附金	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
指定正味財産合計	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
（うち基本財産への充当額）	(10,409,018)	(10,500,000)	(△90,982)	
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)	
2 一般正味財産	76,803	17,575	59,228	
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)	
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)	
正味財産合計	10,485,821	10,517,575	△ 31,754	
負債及び正味財産合計	10,485,821	10,517,575	△ 31,754	

議案第1号 平成26年度公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会事業及び収入支出決算の報告について

正味財産増減計算書(案)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増減	説明
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	47,919	47,949	△ 30	
配当金収益	47,919	47,949	△ 30	基本財産利息
② 雑収益	127	115	12	
雑収益	127	115	12	運用会計利息
③ 一般正味財産からの振替額	90,982	0	90,982	
受取寄付金	90,982	0	90,982	寄付金振替
経常収益計	139,028	48,064	90,964	
(2) 経常費用				
① 事業費	70,000	70,000	0	
奨学金	70,000	70,000	0	奨学生1名
② 管理費	9,800	23,200	△ 13,400	
旅費	9,000	8,500	500	理事等出席旅費
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	14,700	△ 14,700	
手数料	800	0	800	証明手数料
経常費用計	79,800	93,200	△ 13,400	
当期経常増減計	59,228	△ 45,136	104,364	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	59,228	△ 45,136	104,364	収支差引
一般正味財産期首残高	17,575	62,711	△ 45,136	前年度繰越金
一般正味財産期末残高	76,803	17,575	59,228	当年度末繰越金
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
指定正味財産期末残高	10,409,018	10,500,000	△ 90,982	
III 正味財産期末残高	10,485,821	10,517,575	△ 31,754	

正味財産増減計算書内訳表(案)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	35,940	11,979	0	47,919
配当金収益	35,940	11,979	0	47,919
② 雑収益	96	31	0	127
雑収益	96	31	0	127
③ 一般正味財産からの振替額	68,237	22,745	0	90,982
受取寄付金	68,237	22,745	0	90,982
経常収益計	104,273	34,755	0	139,028
(2) 経常費用				
① 事業費	70,000	0	0	70,000
奨学金	70,000	0	0	70,000
② 管理費	0	9,800	0	9,800
旅費	0	9,000	0	9,000
通信運搬費	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0
手数料	0	800	0	800
経常費用計	70,000	9,800	0	79,800
当期経常増減計	34,273	24,955	0	59,228
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	34,273	24,955	0	59,228
一般正味財産期首残高	-	-	-	17,575
一般正味財産期末残高	-	-	-	76,803
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 90,982
指定正味財産期首残高	-	-	-	10,500,000
指定正味財産期末残高	-	-	-	10,409,018
III 正味財産期末残高	-	-	-	10,485,821

(法人移行関係情報)

- ・財産運用益の配分については移行認定申請書、毎年度の事業報告に明記した方法に従うこととなる。
※現在の数字は、事業費:管理費割合(75:25)で按分
- ・配分方法は、事業構造の変化等の事情が無い限り、変更は認められない。

財 産 目 録

平成27年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)					
	現金預金	現金 現金手許有高 普通預金 山陰合同銀 行大栄出張所	事業運転資金		76,803
①流動資産合計					76,803
(固定資産)					
基本財産	定期預金	三井信託銀行鳥取支店	運用益を公益目的事業、管理費の財 源として使用(竹歳磐彦氏寄附)		10,000,000
			(共用財産) うち公益目的保有財産		7,500,000
			うち公益目的事業に必要な収益事業等その 他の業務又は活動の用に供する財産		2,500,000
②基本財産合計					10,000,000
特定資産	定期預金	山陰合同銀行大栄出張 所	寄附者の指定した使途に従い、奨学給付 事業に使用する資金(竹歳誠氏寄附)		409,018
③特定資産合計					409,018
④固定資産合計(②+③)					10,409,018
⑤資 産 合 計(①+④)					10,485,821
(流動負債)					
流動負債					0
⑥流動負債合計					0
⑦固定負債合計					0
⑧負債合計(⑥+⑦)					0
正味財産(⑤+⑧)					10,485,821

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当無し

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券・・・該当無し

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の保有無し

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却対象資産の保有なし

(4) 引当金の計上基準

引当金の計上無し

(5) リース取引の処理方法

リース取引無し

(6) 消費税等の会計処理

税込方式による。

3 会計方針の変更

当期から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 内閣府）を採用している。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	500,000	22	91,004	409,018
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
	10,500,000	22	91,004	10,409,018
特定資産				
無し	—	—	—	—
小計	—	—	—	—
合計	10,500,000	22	91,004	10,409,018

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	409,018	0	0	0
定期預金	10,000,000	0	0	0
小計	10,409,018	0	0	0
特定資産	0			
無し	—	—	—	—
小計	—	—	—	—
合計	10,409,018	0	0	0

6 担保に供している資産

該当無し

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

該当無し

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した残高のみを記載した場合）

該当無し

9 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当無し

10 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価格	時価	評価損益
定期預金	409,018	409,018	0
合計			

11 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当無し

12 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

90,982円

13 関係当事者との取引の内容

該当無し

14 重要な後発事象

該当無し

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

2 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

平成 27 年 4 月 7 日

公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会

理事長 松本 昭夫 様

公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会

監 事 田中 建二

秋山 壽雄

監 査 報 告 書

平成 27 年 4 月 7 日、午後 1 時 30 分から北栄町役場大栄庁舎第 6 会議室において、平成 26 年度公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会事業報告及び収支決算状況の監査を行ったところ、業務及び会計経理は適正に処理され、諸帳簿並びに証憑書類は合致し、計数は正確であることを認めましたので報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思の疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

（１）事業報告等の監査結果

ア）事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ）理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。